

仙台市農業振興協議会の開催状況について

1. 仙台市農業振興協議会の概要

農業経営の改善や食料自給力の向上を図り、農業者の経営所得安定に関する事業を効果的に展開するため、米の需給調整、制度内容の周知、転作作物の作付確認等の業務を行うとともに、併せて、耕作放棄地の再生利用や担い手の育成・確保に向けた活動を行っている。

2. 開催状況

平成 26 年度 第 1 回 農業振興協議会総会

① 日時：平成 26 年 5 月 28 日 午後 3 時～

② 場所：仙台市役所 本庁舎 5 階 第 2 会議室

③ 内容

ア 平成 25 年度事業報告及び収支決算について

- ・生産調整等実施状況
- ・経営所得安定対策交付状況
- ・大豆・麦生産体制緊急整備事業の実施状況
- ・耕作放棄地対策部門の活動実績
- ・担い手育成部門の活動実績

※決算額：17,334 千円

(内訳：直接支払推進事業 14,601 千円、大豆・麦生産体制緊急整備事業 2,075 千円、耕作放棄地再生利用緊急対策事業 488 千円、担い手総合支援推進事業 170 千円)

イ 平成 26 年度事業計画及び予算について

- ・経営所得安定対策等の円滑な推進、攻めの農業実践緊急対策事業及び耕作放棄地再生利用緊急対策の事業実施、担い手育成確保に向けた活動を進める。

※ 予算額：60,685 千円

(内訳：直接支払推進事業 10,215 千円、攻めの農業実践緊急対策事業 50,000 千円、耕作放棄地再生利用緊急対策事業 300 千円、担い手総合支援推進事業 170 千円)

ウ 仙台市農業振興協議会規約等の一部改正について

エ 平成 26 年度仙台市地域農業ビジョンについて

オ 平成 26 年度水田フル活用ビジョンについて

- ・地域の特色のある産地を創造するため、平成 28 年度に向けた作物ごとの取組み方針や作付面積の目標設定を行い、水田のフル活用を図るため作成した。

産地交付金を受ける要件となっており、実現のため交付金を活用しながら進めていく。

カ 平成 26 年度産地交付金について

- ・地域の実情に即して、麦・大豆等の戦略作物の生産性向上や地域振興作物の生産への取組みを支援するため、産地交付金の活用方針について検討。

キ 平成 26 年度担い手育成・確保アクションプログラムについて

- ・育成・確保していく「担い手」の目標数や関係機関の役割分担等を定めた単年度の行動計画を決定した。

	現状(H26. 3月末)	目標(H27. 3月末)	増加数
認定農業者の育成・確保数	246	256	10
集落営農の法人化数	5	7	2